第50号

清流 川メール

発行日／令和４年６月１日
発　行／静岡県河川協会
（事務局：交通基盤部河川砂防局）
E-mail:kasenk_shizuoka@yahoo.co.jp
〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
TEL：090-1416-4365　FAX：054-221-3260

源兵衛川（写真提供：三島市）

敷地川（写真提供：磐田市）

CONTENTS

令和4年度河川･海岸関係予算の概要　1･2
令和3年度の12月補正予算（国補正予算）について

県内のトピックス

静岡県の流域治水の取組　3･4
「流域治水プロジェクト」と「水災害対策プラン」とは?
雨水貯留施設広報動画の公開
流域治水の取組状況
「つなぐ-災害派遣の記録（平成23年度～令和3年度）」の発刊　5
河川協会研修会の開催　6
もしものときは、浮いて待て!

最近の整備状況

熱海市伊豆山地区　逢初川の復旧･復興　7
河川管理施設･海岸保全施設の長寿命化　補助事業に新規採択　8
浜松市沿岸の津波対策最後の要「馬込川水門」本体工事着工
第25回遠州灘沿岸侵食対策検討委員会の開催　9
第8回三保松原景観改善技術フォローアップ会議の開催

わがまちの川自慢

松崎町･焼津市　10

インフォメーション

静岡どぼくらぶ、フォトコンテストを開催します　11
ごあいさつ
編集後記、個人会員募集

令和4年度

河川・海岸関係予算の概要

〈当初予算〉318億4,644万円余

（昨年度当初比97.1%）

健康で心のふれあう安全社会、自然を生かす美しい県土を形成するため、「災害に強い安全な地域づくり」、「うるおいのある水辺空間の整備」、「水資源の保全と有効利用」などを目標に河川・海岸の整備を進めます。

河川事業

208億7,864万円
（前年度当初比 94.9%）

近年の激甚化・頻発化する豪雨災害対策として、河道拡幅や堤防整備等を実施し、沼川では放水路を、巴川では遊水地の整備を推進します。大規模地震に対する津波対策として、坂口谷川や馬込川等において水門整備を進めます。また、長寿命化計画に基づき河川管理施設の老朽化対策を実施し、適正な管理に努めます。

海岸事業

36億7,280万円
（前年度当初比 100.9%）

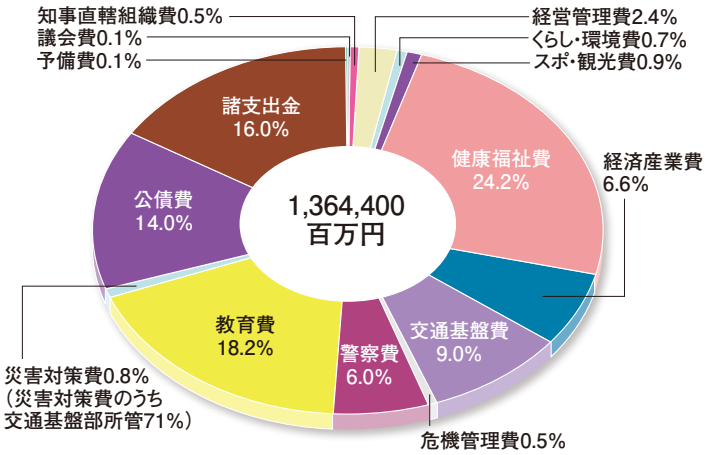
「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013」の目標である「今後10年間で約8割の人的被害解消」に向け、海岸堤防の嵩上げ等を進めます。清水海岸では、三保松原の景観改善、及び海岸侵食対策として突堤の整備等を進めます。また、海岸侵食が著しい竜洋海岸等では、養浜等の対策を実施します。

災害復旧事業

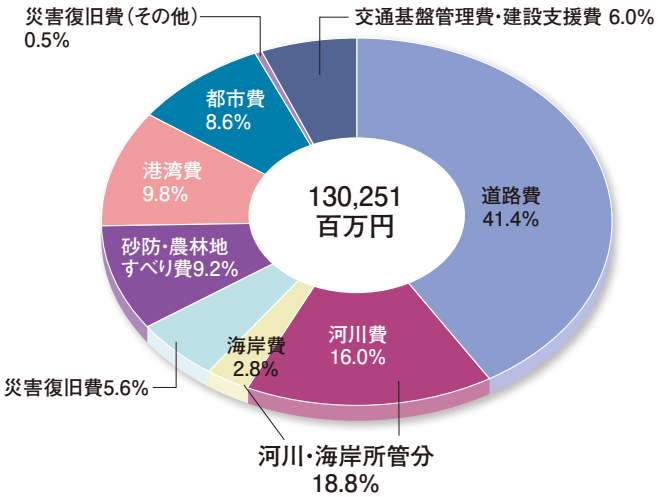
72億9,500万円
（前年度当初比 102.2%）

台風や集中豪雨などの異常な天然現象で生じた河川や海岸などの公共土木施設の被害箇所の早期復旧を図ります。また、今後の風水害による施設被災についても迅速に対応していきます。

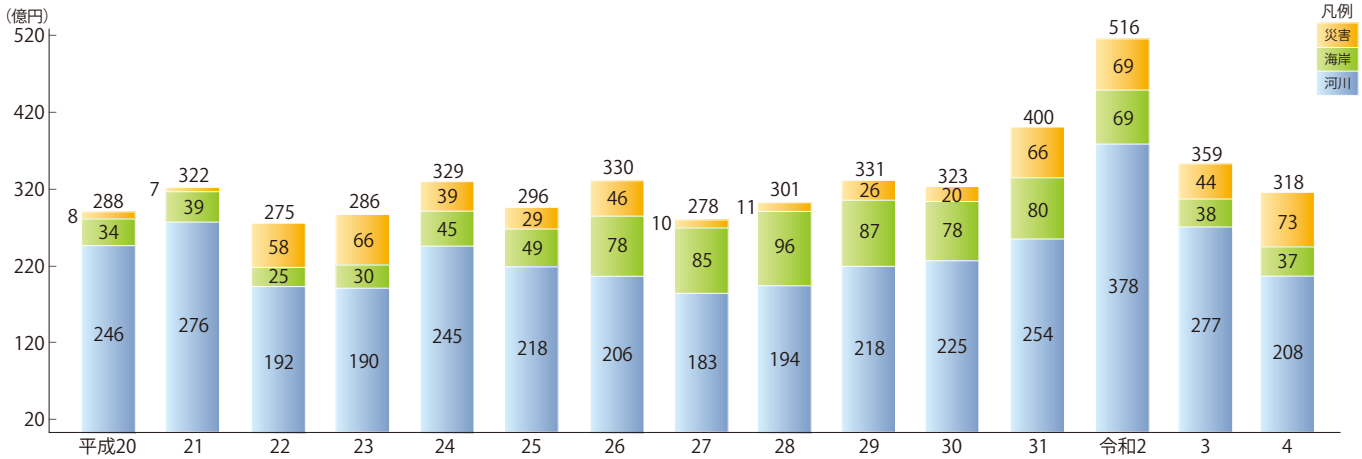
■静岡県予算　令和4年度当初



■交通基盤部予算　令和4年度当初



■河川・海岸関係予算の推移



（※令和４年度は当初予算、他は最終予算）

■ 令和4年度河川･海岸関係予算

（単位:千円、%）

区　　分	4年度	3年度		伸び率(%)	
	4当初(A)	3当初(B)	3最終(C)	A／B	A／C
河川砂防管理費	887,178	858,662	866,477	103.3	102.4
河川行政費	13,378	3,362	11,177	397.9	119.7
河川維持管理費	873,800	855,300	855,300	102.2	102.2
河川改良費	17,697,464	18,853,168	24,033,789	93.9	73.6
国庫補助事業費	7,761,000	9,421,000	14,609,274	82.4	53.1
河川関係国庫補助事業費	3,876,000	3,051,000	4,535,500	127.0	85.5
社会資本整備総合交付金事業費（河川）	2,728,000	5,000,000	9,722,588	54.6	28.1
河川等災害関連事業費	1,005,000	1,005,000	120,154	100.0	836.4
演習場地区河川事業費	152,000	365,000	231,032	41.6	65.8
県単独河川事業費	9,936,464	9,432,168	9,424,515	105.3	105.4
県単独河川事業費	4,242,200	4,125,700	4,125,700	102.8	102.8
準用河川等改修費助成	115,000	115,000	115,000	100.0	100.0
緊急治水対策事業費（河川）	1,330,000	1,330,000	1,330,000	100.0	100.0
河川管理権限移譲費助成	37,333	16,666	16,666	224.0	224.0
佐鳴湖リフレッシュ事業費	1,931	2,802	2,802	68.9	68.9
緊急自然災害防止対策事業費（河川）	2,130,000	2,130,000	2,130,000	100.0	100.0
太田川ダム管理用発電設備運用事業	20,000	22,000	14,347	90.9	139.4
水災害対策プラン策定事業費		90,000	90,000	皆減	皆減
津波対策施設等整備事業費（河川）	200,000	100,000	100,000	200.0	皆増
県土強靱化対策事業費（河川）	1,500,000	1,500,000	1,500,000	100.0	100.0
安全で美しい県土環境保全事業（河川）	300,000			皆増	皆増
河川･海岸管理DX推進事業費	60,000			皆増	皆増
海岸費	2,307,795	2,276,275	2,420,022	101.4	95.4
国庫補助事業費	1,250,000	1,421,000	1,985,416	88.0	63.0
海岸関係国庫補助事業費	261,000	67,000	220,500	389.6	118.4
社会資本整備総合交付金事業費（海岸）	989,000	1,354,000	1,764,916	73.0	56.0
県単独海岸事業費	1,057,795	855,275	434,606	123.7	243.4
県単独海岸事業費	356,000	356,000	356,000	100.0	100.0
県単独特定海岸保全施設整備事業費	71,375	71,375	71,375	100.0	100.0
海岸漂着物等対策事業費（景観保全）	7,900	7,900	7,231	100.0	109.3
「静岡モデル」防潮堤整備促進事業費	622,520	420,000		148.2	皆減
（河川海岸費　小計）	20,892,437	21,988,105	27,320,288	95.0	76.5
国直轄事業費負担金	3,659,000	3,659,000	4,256,437	100.0	86.0
国直轄河川事業費負担金	2,294,000	2,294,000	2,842,096	100.0	80.7
国直轄海岸事業費負担金	1,365,000	1,365,000	1,414,341	100.0	96.5
河川海岸費　計	24,551,437	25,647,105	31,576,725	95.7	77.8
過年災害土木復旧費	1,513,000	1,331,000	796,854	113.7	189.9
補助災害	1,513,000	1,331,000	796,854	113.7	189.9
補助災害土木復旧費	1,512,000	1,330,000	796,854	113.7	189.7
市町村指導監督事務費	1,000	1,000		100.0	皆増
現年災害土木復旧費	5,410,000	5,410,000	3,406,465	100.0	158.8
補助災害	5,330,000	5,330,000	3,383,050	100.0	157.6
補助災害土木復旧費	5,309,000	5,309,000	3,382,450	100.0	157.0
市町村指導監督事務費	21,000	21,000	600	100.0	3500.0
単独災害	80,000	80,000	23,415	100.0	341.7
県単独災害土木復旧費	80,000	80,000	23,415	100.0	341.7
国直轄事業費負担金	372,000	394,000	170,000	94.4	218.8
土木施設災害復旧費　計	7,295,000	7,135,000	4,373,319	102.2	166.8
合　　計	31,846,437	32,782,105	35,950,044	97.1	88.6

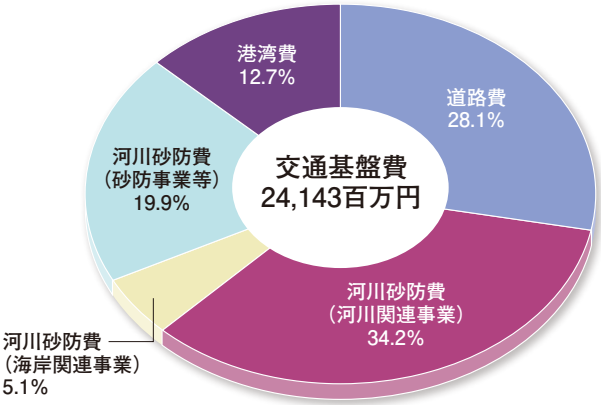
河川事業費計	20,878,642	22,005,830	27,742,362	94.9	75.3
海岸事業費計	3,672,795	3,641,275	3,834,363	100.9	95.8
災害復旧費計	7,295,000	7,135,000	4,373,319	102.2	166.8

令和3年度の12月補正予算（国補正予算）について

令和2年12月11日、政府では「防災･減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が閣議決定され、国土強靱化の取組を加速化･深化させるために必要となる事業規模が示され、令和3年度も補正予算として予算が編成されました。

これを受け交通基盤部では、国の5か年加速化対策に呼応し、道路･河川･港湾施設などの防災･減災対策等について、令和3年度12月議会に補正予算を盛り込みました。

県河川事業として約75億9千万円、県海岸事業として約7億円の予算規模になっており、激甚化･頻発化する水災害等を踏まえた防災･減災対策「流域治水」の推進と、防災インフラの老朽化対策を実施することで、国土強靱化の5か年加速化対策を重点的かつ集中的に進め、災害に屈しない安心･安全な生活基盤の確立を目指します。



（単位：千円）

区 分	事業名	補正予算額
河川海岸関係　合計		9,494,000
河川関連事業		8,264,000
	社会資本整備総合交付金事業費（河川）	6,850,000
	河川関係国庫補助事業費	745,000
	国直轄事業費負担金（河川）	669,000
海岸関連事業		1,230,000
	社会資本整備総合交付金事業費（海岸）	730,000
	海岸関係国庫補助事業費	0
	国直轄事業費負担金（海岸）	500,000

静岡県の流域治水の取組

国においては、気候変動により頻発化・激甚化する水災害に対し、流域のあらゆる関係者や住民が連携し、主体的に取組む水災害対策を「流域治水」として進めています。静岡県では、流域治水を着実に推進するために「流域治水プロジェクト」と「水災害対策プラン」の策定を進めています。策定後は、関係機関で構成された協議会で進捗管理を行い、適宜プロジェクト、プランの見直しを行うとともに、この取組を広く情報発信することで、住民の皆様を含めた地域全体の取り組みへと展開し、効果的な浸水被害軽減策を推進します。

「流域治水プロジェクト」と「水災害対策プラン」とは?

【流域治水プロジェクト】

河川管理者が行う治水対策に加え、流出抑制や土地利用誘導、避難体制の整備など、水害に対する人的・物的被害の軽減に向けてその河川流域全体のあらゆる関係者が行う流域治水の取組の全体像を各水系ごとに取りまとめたものです。具体的には、「防災・減災国土強靭化のための5か年加速化対策」による河川改修などの事前防災対策や、校庭貯留のほか、洪水浸水想定区域図の作成等の取組のスケジュールを流域治水プロジェクトとしてまとめ、ハード・ソフト一体となった対策を加速していきます。

【水災害対策プラン】

流域治水における県独自の取組として、水系の中でも特に浸水被害が頻発している県下14地区を対象に浸水被害の軽減を図るために関係者が取り組む具体的な対策を取りまとめたものです。気候変動により長期的に予測される降雨量の増加や潮位の上昇を踏まえた水害リスク情報を共有した上で、浸水被害を発生させた近年洪水を対象に、床上浸水被害の解消などの目標を設定し、概ね5～10年間で実施するハード・ソフト対策を位置付けます。

流域治水プロジェクトと水災害対策プランの概要

	流域治水プロジェクト	水災害対策プラン
対象エリア	流域全体	浸水が頻発している地区を含むエリア
目標降雨	法定計画である河川整備計画の対象降雨	長期:気候変動による将来予測を考慮 （将来計画の1.1倍の降雨） 短期:浸水被害を発生させた近年洪水
期間	短期:5年　中期:10年　中長期:20年	長期:将来　短期:5年～10年

雨水貯留施設広報動画の公開

静岡県では、流域治水の取組の一つとして、大雨の際に雨水を一時的に貯留することで、河川への流入を抑える「雨水貯留施設」の整備を進めています。このたび、多くの方にその効果や目的を知っていただくための広報動画を作成・公開しました。

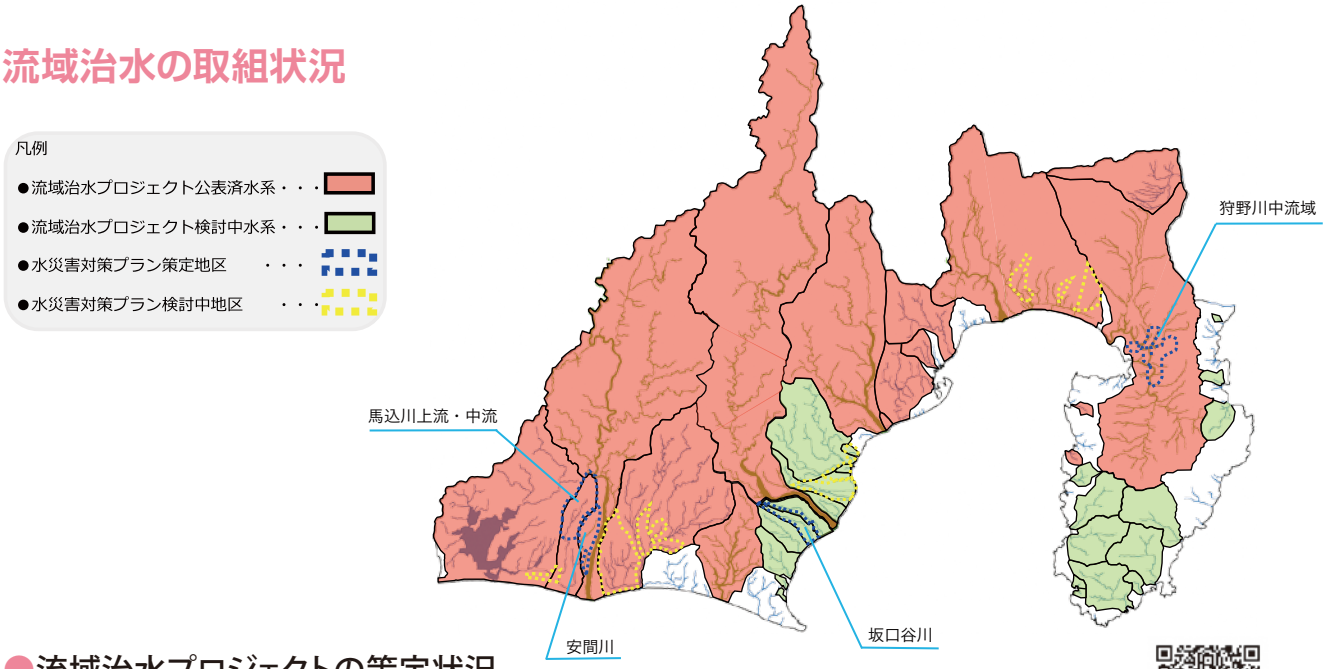
動画は、主に小学生くらいの方を対象に作成しています。家族で一緒にご覧いただき、県が実施する公共事業への興味や、水害への意識向上につなげていただければと思います。

動画は、県のYouTube公式チャンネルなどで見ることができます。その他にも、防災に役立つ様々な動画を公表していますので、防災教育等に活用していただきたいと思います。

河川砂防局防災講座⑨　雨水貯留施設を知っていますか?

公開中の動画一覧

流域治水の取組状況



●流域治水プロジェクトの策定状況

国では、令和２年度末までに静岡県内の一級水系6水系で策定・公表しました。静岡県では、策定対象の二級河川38水系のうち、令和３年度末までに10水系を策定・公表しています。なお、政令市においては静岡市が二級河川浜川水系を公表しています。

公表した静岡県内の流域治水プロジェクト（静岡県HP）

●水災害対策プランの概要

令和３年度末までに、協議会で目標、内容について関係者間で合意した４地区のプランの概要は以下のとおり。なお、「狩野川中流域水災害対策プラン」には、２地区（狩野川中流域・大場川左岸）の浸水対策が、位置付けられています。

【狩野川中流域水災害対策プラン】　対象市町：沼津市(大平地区)、清水町、三島市、函南町、伊豆の国市

目　標		令和元年東日本台風と同規模の洪水に対して、「床上浸水の解消又は軽減、避難体制の強化及び住まい方の工夫による水害リスクの軽減」を目標とする。
主な施策	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす	河道掘削、ポンプ遠隔操作装置等の導入、既設調整池の維持管理、公共施設への貯留施設新設　等
	被害対象を減少させる	立地適正化計画に定める防災指針による対策の実施　等
	被害の軽減、早期復旧・復興	住民が主体的な避難行動につなげるための平時の取組(マイ・タイムライン普及の推進等) 避難行動や被害軽減行動を促すための情報配信事業　等

【坂口谷川水災害対策プラン】　対象市町：牧之原市、吉田町

目　標		平成25 年 4 月豪雨などに対して「床上浸水の解消、道路冠水の軽減、逃げ遅れによる人的被害をなくすこと、氾濫発生後の社会機能の早期回復」を目標とする。
主な施策	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす	河道改修、内水排除ポンプ場の設置や排水能力増強、農地保全、水路や道路側溝の浚渫　等
	被害対象を減少させる	水災害リスクを踏まえたまちづくりの推進　等
	被害の軽減、早期復旧・復興	雨水出水浸水想定区域図の作成・公表、通行規制情報の周知 地域が作成する避難計画の作成支援（緊急避難所の指定等）　等

【安間川水災害対策プラン】【馬込川水災害対策プラン】　対象市町：浜松市

目　標		（安間川）平成27年９月豪雨などに対して「床上浸水の解消、道路冠水の軽減、逃げ遅れによる人的被害をなくすこと、氾濫発生後の社会機能の早期回復」を目標とする。 （馬込川上流・中流）平成29年６月豪雨などに対して「越水氾濫の解消、床上浸水の解消、道路冠水の軽減、逃げ遅れによる人的被害をなくすこと、氾濫発生後の社会機能の早期回復」を目標とする。
主な施策	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす	（安間川）河道改修、ネック橋梁改築、内水排除ポンプの整備・運用、校庭貯留、農地保全　等 （馬込川）河道改修、支川改修、校庭貯留、農地保全、ため池等の保全　等
	被害対象を減少させる	立地適正化計画への防災指針の追加、市街地縁辺集落制度の見直し　等
	被害の軽減、早期復旧・復興	ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組（出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練）、水位情報やカメラ映像の影響（県：サイポスレーダー、市：浜松市土木防災情報システム）　等

「つなぐ―災害派遣の記録（平成23年度～令和3年度）」の発刊

～被災地への職員派遣記録をまとめました～

交通基盤部では、東日本大震災の発災直後の平成23年からこれまで11年にわたり延べ165名の土木技術職員を岩手県、熊本県及び広島県の被災地に派遣してきましたが、令和4年3月をもって全ての職員派遣を終了しました。

被災地での派遣職員の経験は、大規模地震や、近年、本県では発生していない豪雨災害への対応など、本県の防災対策にとって貴重な知見を得ることに役立ってきました。

今回、派遣職員が被災地支援の中で得た経験・知見を他の土木技術職員に伝えるとともに、いつ起こるかわからない大規模災害に備えることを目的に「つなぐ―災害派遣の記録」（A4版全120ページ）をまとめました。

派遣の履歴

派遣先	災　害　名	派遣期間	延べ人数（人）
岩手県	東日本大震災（平成23年東北地方太平洋沖地震）	平成23年度～令和3年度	98
岩手県山田町	東日本大震災（平成23年東北地方太平洋沖地震）	平成24年度～令和2年度	25
熊本県	平成28年熊本地震	平成28年度～令和2年度	19
熊本県	令和2年7月豪雨	令和2年度～令和3年度	3
広島県呉市	平成30年7月豪雨	平成30年度～令和2年度	20
	派遣人数合計		165

記録の概要

派遣職員が被災地で従事した水門、防潮堤工事など、本県の防災対策の参考となる大規模工事の記録や、長期間に渡る復旧・復興の足跡を掲載したほか、今回、記録をまとめるにあたり、1年以上の長期派遣職員を対象に行ったアンケート調査結果や派遣職員の「生の声」を集めて掲載しました。

今後の活用

- 本記録は、主に公共土木施設の復旧や整備に携わる行政職員の経験や知見をまとめたものであり、今後の災害対応や新たな職員派遣に備え、研修等で活用するなどして、技術力向上に取り組んでいきます。
- 県内市町にも技術支援の一環として本記録を提供するなど、広く活用していきます。
- 災害の初動段階で必要となる項目を派遣職員の経験から洗い出して取りまとめた「事前復興行動計画」（平成27年作成）についても、職員の本県帰還以降の業務経験を踏まえ、見直しを行っていく予定です。

大槌川水門（右）と小鎚川水門（左）（岩手県 上閉伊群 大槌町）

鵜住居川水門（岩手県 釜石市）

河川協会研修会の開催

令和３年７月の改正水防法施行により、洪水浸水想定区域の指定が義務付けられる河川（区域）が拡大されるなど、近年、災害リスク情報の取り扱いが重要になっています。

気候変動により頻発化・激甚化する水災害に対して、地域住民が適切に防災行動に取り組むためには、日頃から警戒避難体制を整備する必要があります。また、適切な避難指示等の発令につなげていくためには、行政職員のリスク情報に対する正しい理解が求められています。

このため、リスク情報を取り扱う静岡地方気象台と、その情報を活用した防災情報の作成支援を担う河川情報センターから講師を招き、令和４年２月16日に「河川協会研修会」を開催しました。

気象台からは、「キキクル」の更なる精度向上に向けた取組や、実現象との比較について講義をいただきました。また、河川情報センターからは、東京都大田区の点字版ハザードマップや、北海道石狩市のYouTubeを活用した手話で伝えるハザードマップ等、あらゆる人が利用できるように工夫された全国のハザードマップ作成事例の紹介や、防災意識の低い住民への周知・啓発等、水害ハザードマップの課題について講義いただきました。

河川協会研修会の様子（Web研修）

事前に備える防災情報として気象庁が公開する危険度分布「キキクル」のリーフレット
出典：気象庁HP

もしものときは、浮いて待て!

文部科学省が改訂した学習指導要領の小学校５学年及び６学年の水泳運動において、新しく「安全確保につながる運動」と「着衣のまま水に落ちた場合の対処の仕方」が取り扱われることになりました。

また、中学校全学年においても、「水泳の事故防止」に関する心得を遵守するなど健康・安全指導を行うことになりました。

併せて保健分野において、事故防止の心得について教えることとなり、今後は、小学校の授業で、水難事故が扱われる機会が増すものと考えられます。

そこで、夏を前に多くの方に水難事故防止の啓発のため、チラシを作成しました。

※チラシは当協会HPから印刷できます

水難事故防止啓発チラシ「もしものときは浮いて待て!」

熱海市伊豆山地区　逢初川の復旧・復興

逢初川水系河川整備基本方針を策定しました

静岡県は二級河川逢初川の将来像や計画高水流量など、長期的な河川整備の目標を位置付けた「逢初川水系河川整備基本方針」を令和４年４月に策定・公表しました。引き続き、河川整備基本方針に従って河川整備の具体的な内容を位置付けた「逢初川水系河川整備計画」を、地域の皆様などから意見を聴いた上で策定します。

逢初川の復旧に向けた現在の状況

土石流により被災した河川護岸のうち、原形復旧（元の位置に護岸を復旧）区間の工事を２箇所で行い、一部工事が令和３年度末に完了しました。

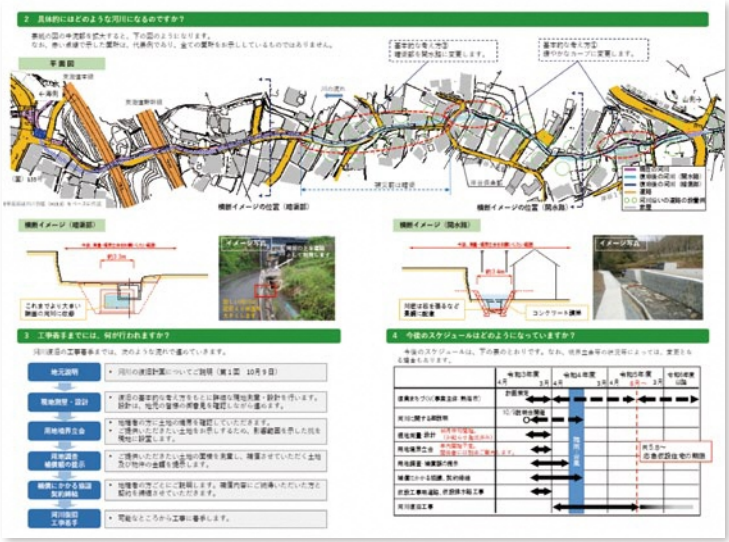
一方、暗渠部など元々の河川断面が小さい箇所については、復旧に合わせて河川断面の拡大などの改良を行う計画としており、測量・設計とともに、事業用地取得に向けた境界立会を土地所有者の御協力をいただきながら進めています。令和４年３月末には逢初川の改良復旧計画と逢初川沿いの市道計画に関する地元説明会を開催しており、今後は用地補償等を進め、準備が整った区間の工事着手を目指していきます。

護岸被災状況（復旧前:令和3年12月）

原形復旧工事完了後（令和4年3月）

熱海土木事務所では広報活動に努めています

静岡県熱海土木事務所では、土石流災害に関する各種情報（交通規制情報、地元説明会等）をＨＰやSNSで随時発信しています。また、逢初川の改修に関する地元説明会や進捗状況などをまとめた「逢初川だより」を発行するとともに、地元町内会での回覧や、避難されている方々への郵送など、被災者に寄り添った情報提供に努めています。



住民向け広報誌「逢初川だより」

熱海土木HP

Twitter
（熱海土木事務所）

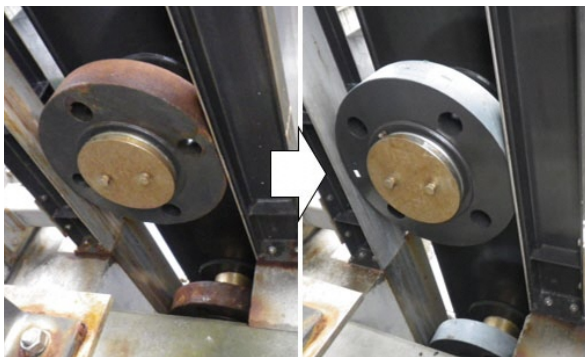
河川管理施設・海岸保全施設の長寿命化 補助事業に新規採択

静岡県では、洪水や津波、高潮に対する被害を軽減することを目的として、水門・樋門等の整備を実施していますが、多くの施設で建設時から長期間が経過しており、老朽化が大きな課題となっています。

そこで、効率的な維持管理を実現するため、壊れてから直す「事後保全」の考えから、定期的な補修により延命化させる「予防保全」への転換を図るとともに、長寿命化計画を策定し、計画的な機器更新や補修を実施してきました。

このような中、今年度から、長寿命化計画に基づく補修や機器更新を集中的に実施するための補助事業である「河川・海岸メンテナンス事業」が創設され、ぼう僧川水門ほか14施設が新規採択されました。今後は、計画的な予算確保が可能となることから、的確に維持管理を行うことで確実な施設機能の確保に努めていきます。

ぼう僧川水門(ぼう僧川　磐田市)



機械設備の補修(延命化の実施)

浜松市沿岸の津波対策　最後の要　「馬込川水門」本体工事着工

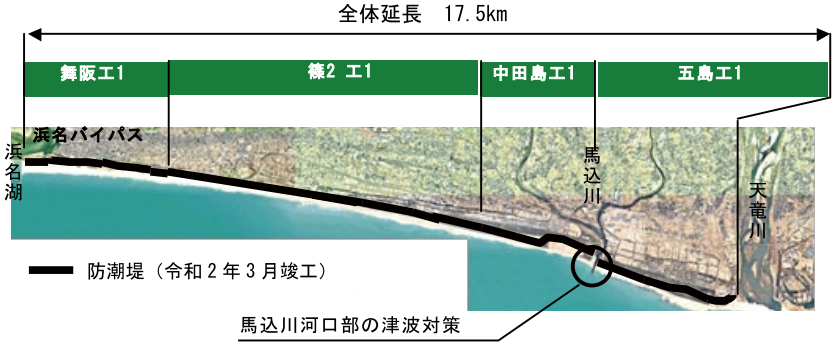
浜松市沿岸域の津波対策として、天竜川から浜名湖今切口までの約17.5kmにおいて、高さ13m～15mの防潮堤が令和２年３月に竣工しましたが、この区間には馬込川の河口があり、河口の津波対策の課題となってきました。

このため現在、河口から遡上する津波の防護を目的とした、「馬込川水門」の整備を進めており、既に完成した防潮堤と併せて、レベル２津波による宅地浸水面積の89％を減少できる整備効果が期待されています。

令和２年度から仮締切工（作業範囲を確保するための囲い）の作業を進め、現在は、水門の基礎となる鋼管杭の打設工事を行っています。

事業は令和９年度の完了を目標としていますが、少しでも早く効果を発揮できるよう工事を進めていきます。

詳しくは静岡県浜松土木事務所ホームページでご確認ください。



位置図(浜松市沿岸域防潮堤)

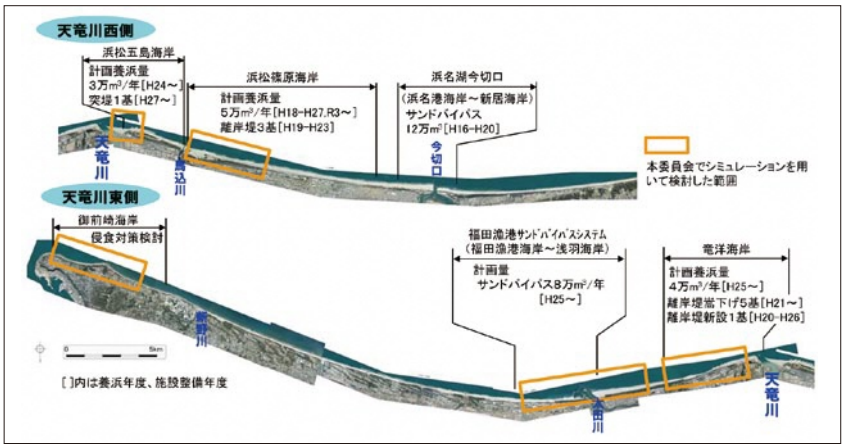
馬込川河口部周辺の現状(令和元年)

第25回遠州灘沿岸侵食対策検討委員会の開催

遠州灘沿岸では、天竜川からの土砂供給の減少や突堤等の海岸構造物により沿岸を移動する土砂の流れが阻害されていることから、海岸侵食が各地で顕在化しており、防災・環境・利用の各面で様々な問題が生じています。こうした課題の解決を図るためには天竜川上流から遠州灘沿岸（湖西海岸～相良海岸）にわたる広域的な土砂管理が必要であるため、静岡県は、天竜川を管理する国や市町、地域住民との連携・協働により、河川及び沿岸の土砂移動バランスの改善を主体とした対策に取り組んでいます。

令和４年３月16日に開催した「第25回遠州灘沿岸侵食対策検討委員会」では、令和３年度に実施した地形変化等のモニタリング結果を踏まえ、各海岸における現状評価を行いました。また、対策を実施する上での課題を整理し、令和４年度に各海岸で行う対策を決定しました。

今後も、各海岸でのモニタリングを継続し、養浜等の侵食対策の効果を検証・評価するとともに、本検討委員会において計画の順応的な見直しを行い、遠州灘沿岸での適切な土砂管理を進めていきます。



各海岸における侵食対策の検討及び実施内容

会議の様子（一部委員はオンラインで参加）

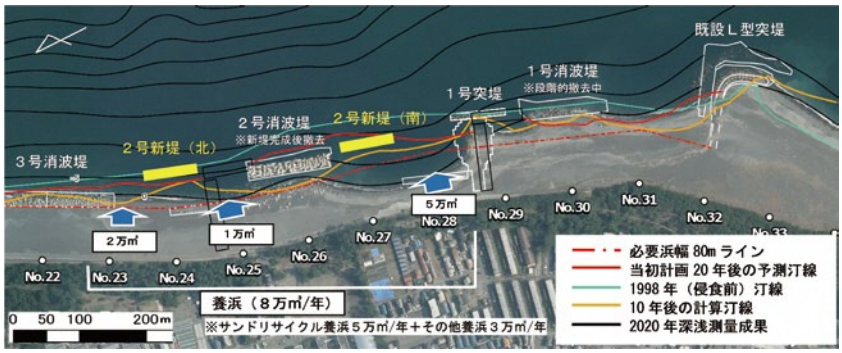
第8回三保松原景観改善技術フォローアップ会議の開催

静岡県は、世界文化遺産「富士山」の構成資産であり、名勝の「三保松原」を含む清水海岸三保地区において、海岸保全と景観改善を両立する取組を進めています。

この取組では、安倍川から供給される土砂のみで砂浜が維持されていた海岸侵食前の姿に回復させることを長期的な目標とし、短期対策と中期対策を段階的に実施しています。短期対策では、羽衣の松周辺において視認性が高い１号・２号の消波堤から突堤等への置き換えを行い、中期対策では、短期対策の効果検証結果を踏まえて対策を検討し、実施していきます。

令和４年３月24日に開催した「第８回三保松原景観改善技術フォローアップ会議」では、２号新堤の設置に伴う課題への対応方針を決定したほか、令和３年度に実施した砂浜幅や景観等のモニタリング結果を報告しました。

今後、短期対策である２号新堤の設置や養浜を実施するとともに、モニタリング計画に基づき、対策の効果や影響等を検証し、本フォローアップ会議で計画を順応的に見直すなど、効率的かつ効果的な取組を進めます。



２号新堤の設置位置（黄色で表示）

会議の様子（一部委員はオンラインで参加）

わがまちの川自慢

松　崎　町

松崎町は、天城山脈から流れる河川沿いに水田が広がり、美しい農村景観が見られます。

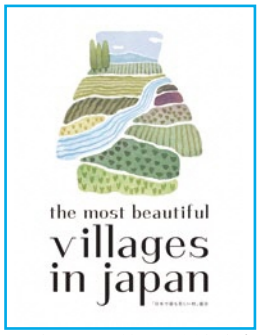
この景観を守り、住民によるまちづくり活動を展開することを目的に松崎町は平成25年から「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

こうした住民活動の一例として、ビオトープ整備や観賞場所、遊歩道の整備が行われており、毎年5月下旬から6月にかけて、町内のさまざまな河川でホタル鑑賞を楽しむことができます。

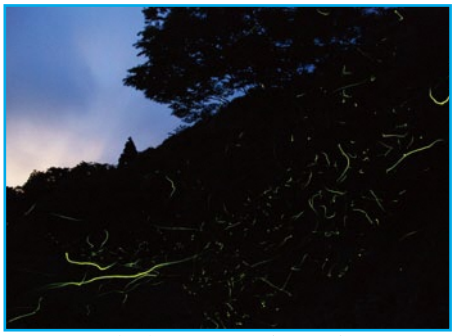
また、こうした活動により、河川が子どもたちに自然との関わりを教える場所、世代を越えた地域住民や来訪者との交流の場になっています。

初夏の夜に幻想的に舞うホタルの姿を楽しみに松崎町へぜひお越しください。

【お問合せ先】松崎町企画観光課　TEL:0558-42-3964



「日本で最も美しい村」連合


松崎町のホタル（太田川）

6月から咲き始める那賀川沿いのアジサイ

焼　津　市

焼津市は、一級河川大井川をはじめ、12の二級河川の下流域に位置していることに加え、市内のほぼ全域が平坦な土地であることから、豊かな水の恵みを受ける一方で、治水対策が大変重要であります。このような中、更なる防災力の向上を図るため、国と連携し、大井川流域において初めてとなる河川防災ステーションが、大井川左岸中島地区に本年2月、完成致しました。

本施設は、水防活動に必要な土砂やブロック等の緊急的な資機材を備蓄するほか、流域における水防活動の拠点施設となるとともに、平常時は、備蓄土砂の天端が芝生広場となり、また、地域の皆様により「カワボ･おおいがわ」と愛称を付けていただきました「水防センター」を開放するなど、地域の皆様に親しんでいただける施設となります。

大井川水防センター　愛称「カワボ･おおいがわ」

大井川中島地区　河川防災ステーション

【お問合せ先】焼津市河川課　TEL:054-626-1118

静岡どぼくらぶフォトコンテスト2022を開催します

静岡県は、写真を通じて県民生活や経済活動を支える建設産業の“意義”や“魅力”を伝えるとともに、建設産業に従事する方達がその魅力を発信する機会として、「静岡どぼくらぶフォトコンテスト」を開催しています。

第４回目となる本年は、「“土木・建築”おもいで写真」をテーマに、静岡県内で撮影した「土木構造物」「建築物」「建設産業で働く人」が写った作品を募集します。家族でキャンプをした川辺、初日の出を見た海岸、自転車を漕ぐ練習をした公園、技術者として挑んだ工事現場…あなたのおもいでを写真にしてみませんか。入賞された方には豪華副賞をご用意しています。募集は8月31日（水）まで。

R3受賞作「畑薙第一ダムと秋の絶景」

R3受賞作「船明ダム」

募集案内サイト

ごあいさつ

4月に着任しました、静岡県河川砂防局長の望月嘉徳でございます。
会員の皆様には、日頃から本県の河川･海岸行政に御理解と御支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。本年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

令和3年7月の梅雨前線豪雨では、熱海市伊豆山地区において大規模な土石流が発生し、死者27名、行方不明者1名等の甚大な被害が発生しました。

県では、7月末に立ち上げた「逢初川下流域復旧･復興チーム」により、被災地区での応急復旧活動や本格的な災害復旧の取組を継続しているところです。避難生活を余儀なくされている皆様が一日も早く普段の生活を取り戻すことができるよう、引き続き、地域インフラの基盤である逢初川の整備に全力で取り組んでまいります。

近年、気候変動による豪雨の激甚化･頻発化により全国各地で大規模な水害が発生しています。このため、流域のあらゆる関係者が連携して取り組む「流域治水」を県下各地で更に推進し、水災害の防災･減災に取り組んでまいります。治水対策の根幹となる河川整備を着実に進めるとともに、洪水浸水想定区域図等の水災害リスク情報を拡充するなど、ハード対策とソフト対策が一体となって大規模氾濫等への備えを充実してまいります。

未だ新型コロナウイルスの終息が見通せないなかではありますが、自然災害へ備えの充実を続けていくことは待ったなしの状況にあります。安全･安心で魅力あるふじのくにの実現を目指して、県民の皆様や様々な分野の関係者の方々の御理解と御協力をいただき、会員の皆様とともに“いっしょに未来の地域づくり”を進めていきましょう。

静岡県河川協会事務局より

◇事務局では皆さまからの御意見をお待ちしております。
紹介したい事例、イベントなどございましたら、事務局までお気軽に御連絡ください。

◇また、清流表紙に掲載する静岡県内の水辺の写真を募集しております。
詳しくは下記宛にお問い合わせください。

【連絡先】 〒420－8601
静岡市葵区追手町９番６号
静岡県河川協会（静岡県交通基盤部河川砂防局内）
TEL：090 - 1416 - 4365　FAX：054 - 221 - 3260
E - mail：kasenk_shizuoka@yahoo.co.jp
HP　https//shizuoka-kasenk.com/

公益社団法人 日本河川協会 個人会員募集のお知らせ

公益社団法人　日本河川協会では個人会員の募集をしております。
会費は年間6,000円です。
詳細につきましては下記宛にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先／公益社団法人　日本河川協会
〒102 - 0083
東京都千代田区麹町２丁目６番５号
麹町E. C. Kビル３階
TEL：03 - 3238 - 9771
FAX：03 - 3288 - 2426